

#### ■米国：EPA が 2013 年の大規模施設からの温室効果ガス排出量を公表

環境保護局 (EPA) は 2014 年 9 月 30 日、温室効果ガス報告書「Greenhouse Gas Reporting Program2013」を公表した。これは温室効果ガス排出量のトレンドを部門、地域、施設ごとに整理したものであり、国内排出量の約半分を占める約 8,000 カ所の大規模施設が対象となっている（このうち火力発電所は 1,572 カ所）。火力発電所における 2013 年の温室効果ガス排出量は約 21 億 CO<sub>2</sub> 換算トンであり全体（約 32 億 CO<sub>2</sub> 換算トン）の約 66%を占めている。特に石炭火力発電所の発電電力量増加の影響により、前年比 2,000 万 CO<sub>2</sub> 換算トンの増加となった。